

信頼・実績・安心 神戸製鋼所のイルミナイト系被覆アーク溶接棒



FAMILIARC™

B-10 (作業性重視タイプ)

FAMILIARC™

B-14 (作業性・溶接性両立タイプ)

FAMILIARC™

B-17 (溶接性重視タイプ)

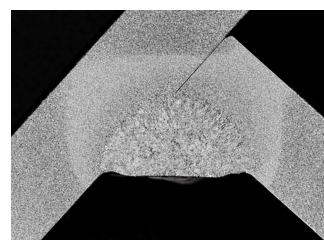
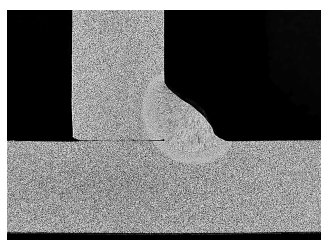
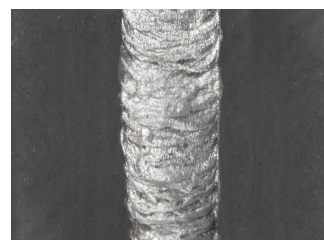
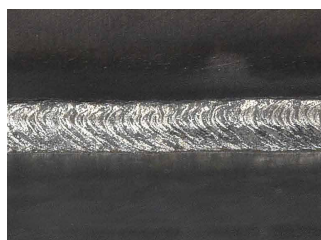
神戸製鋼所のイルミナイト系被覆アーク溶接棒は、昭和17年のB-17販売開始以来、真の「使い易さ」と「溶接性能」を追求し、あらゆる構造物の溶接に広く使用されているロングセラー商品です。

効果と特長

- 幅広い姿勢における使い易さと溶込み深さ**
アークが強く、集中性・安定性に優れることから、上進含め幅広い姿勢でルートまで安定した溶込みを得られます。
- 綺麗なビード外観**
スラグはく離良好で焼き付きが少なく、イルミナイト特有の光沢のあるビード外観を得られます。

銘柄	主な特長(同系統比)
FAMILIARC™ B-10	光沢のある美しいビードが得られ、薄板でも十分な溶込みを必要とする溶接接手に優れています。
FAMILIARC™ B-14	スラグがよく被り、立向・上向姿勢での溶接のし易さは同系統では最高です。
FAMILIARC™ B-17	耐割れ性、耐ピット性およびX線性能は同系統の中で最も優れています。

FAMILIARC™ B-14のビード外観および断面マクロ(板厚6mm、AC)



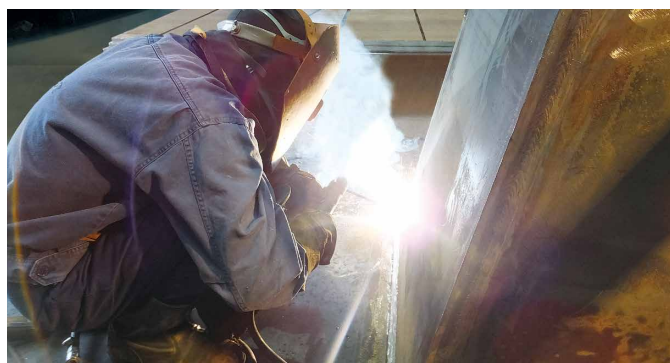
水平すみ肉
(140A、3.2mmφ)

立向上進
(110A、3.2mmφ)

用途例



原油タンクの補修溶接 (FAMILIARC™ B-14 使用)



垂鉛めつき釜の溶接 (FAMILIARC™ B-17 使用)

溶着金属の化学成分と機械的性質の一例


銘柄	化学成分 (mass%)					機械的性質				
	C	Si	Mn	P	S	耐力 (MPa)	引張強度 (MPa)	伸び (%)	吸収エネルギー (J)	
									0°C	-20°C
FAMILIARC™ B-10	0.10	0.09	0.39	0.016	0.008	400	450	26	95	65
FAMILIARC™ B-14	0.10	0.10	0.43	0.015	0.007	410	460	26	110	80
FAMILIARC™ B-17	0.09	0.08	0.60	0.012	0.006	420	470	26	110	85

主な用途と規格

銘柄	主な用途例	JIS Z 3211	AWS	船級
FAMILIARC™ B-10	車輛、建築など	E4319	A5.1E6019 相当	—
FAMILIARC™ B-14	造船、車輛、建築など	E4319 U	A5.1E6019 相当	NK、ABS、LR、DNV、BV、CR
FAMILIARC™ B-17	造船、建築、機械など	E4319 U	A5.1E6019 相当	NK、ABS、LR、DNV、BV、CR

製造寸法と推奨電流範囲 AC、DC(±)

銘柄	棒径 (mmφ)	2.6	3.2	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	
FAMILIARC™ B-10	棒長 (mm)	350	350	400	400	450	—	—	
	電流範囲 (A)	下向	50~85	80~130	120~180	170~250	230~300	—	—
		立向/上向	40~70	60~110	100~150	130~200	—	—	—
FAMILIARC™ B-14	棒長 (mm)	350	400	450	450	450	550	—	
	電流範囲 (A)	下向	55~90	85~140	130~190	180~260	240~310	300~370	—
		立向/上向	45~75	60~120	100~160	135~210	—	—	—
FAMILIARC™ B-17	棒長 (mm)	350	350	400	400	450	450	450/550	
	電流範囲 (A)	下向	50~85	80~130	120~180	170~250	240~310	300~370	350~440
		立向/上向	40~70	60~110	100~150	130~200	—	—	—

 溶接の際発生するヒュームとガスによって、健康を損なうおそれがあります。排気、換気の実施、呼吸用保護具の着用など適切な予防措置をとってください。アーク光は目や皮膚に有害です。適切なしゃ光保護具を使用してください。感電によって死に至ることがあります。通電部に触れないでください。ワイヤの始末端部などトーチ先端以外のワイヤが、溶接中に母材、ワイヤフィードなど非絶縁部に接触するとスパークが発生し、火災、熱傷の原因になるので注意してください。

警告

お客様へのご注意とお願い

- ①本カタログに記載された溶接材料、溶着金属、溶接金属などの諸特性データは、製品の代表的な特性や性能を説明するためのものであり、「規格」の規定事項として明記したものを以外は、保証を意味するものではありません。
- ②実際の溶接構造物における諸性能については、施工物の設計、鋼板の化学成分、施工方法、溶接条件、施工者の技量などの影響がありますのでご注意ください。
- ③本カタログ記載の技術情報を誤って使用したことにより生じた損害につきましては、責任を負いかねますので、ご了承ください。

株式会社 神戸製鋼所

溶接事業部門

マーケティングセンター

マーケティング企画室 TEL 03-5739-6321 FAX 03-5739-6958

国内営業部

造船・エネルギー営業室 TEL 03-5739-6322 FAX 03-5739-6958

東日本営業室

(溶接材料) TEL 03-5739-6323 FAX 03-5739-6958

(溶接システム) TEL 03-5739-6325 FAX 03-5739-6958

北海道営業所 TEL 011-261-9334 FAX 011-251-2533

東北営業所 TEL 022-261-8812 FAX 022-261-0762

中日本営業室 TEL 052-584-6075 FAX 052-584-6109

※本製品(役務を含む)は、外国為替及び外国貿易法に定める輸出規制の対象です。輸出には、日本国政府の輸出許可が必要な場合があります。輸出のご予定がある場合には、弊社営業所へお問い合わせ下さい。その際には輸出先や用途をご確認させていただくことがありますので、ご了承下さい。

The products and services represented in this catalog are governed by the export restrictions of the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Act. A Japanese government issued export permit may be necessary to export outside Japan. If export is intended, kindly consult Kobe Steel, Ltd. Welding Business and/or its sales offices. Please be advised in advance that we reserve the right to confirm the export destination including the nature and/or intended use of our products and services at the said destination.

コベルコ溶接テクノ株式会社

CS推進部CSグループ TEL 0466-20-3000 FAX 0466-20-3010

西日本営業室

(溶接材料) TEL 06-6206-6390 FAX 06-6206-6458

(溶接システム) TEL 06-6206-6423 FAX 06-6206-6458

中国営業所 TEL 082-258-5305 FAX 082-258-5309

四国営業所 TEL 087-823-7444 FAX 087-823-7333

九州営業所 TEL 092-451-6012 FAX 092-473-8238

グローバル推進部

TEL 03-5739-6331~6332 FAX 03-5739-6960